

著者紹介

山口裕之（やまぐち・ひろゆき）

1970年 奈良県に生まれる

1999年 東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻（思想文化）哲学専門分野博士課程単位取得退学

2002年 博士（文学）学位取得

現在、徳島大学総合科学部准教授

主要著作：『コンディヤックの思想』（勁草書房、2002年）、『人間科学の哲学』（勁草書房、2005年）、『ワードマップ 認知哲学』（新曜社、2009年）、『ひとは生命をどのように理解してきたか』（講談社、2011年）ほか。



コピペと言われないレポートの書き方教室
3つのステップ

初版第1刷発行 2013年7月26日

初版第3刷発行 2014年4月16日

著者 山口裕之

発行者 塩浦 暲

発行所 株式会社 新曜社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-9
第一九三ビル

電話 (03)3264-4973・Fax (03)3239-2958

E-mail: info@shin-yo-sha.co.jp

http://www.shin-yo-sha.co.jp/

印刷所 亜細亜印刷

製本所 イマキ製本所

©YAMAGUCHI Hiroyuki, 2013 Printed in Japan
ISBN978-4-7885-1345-7 C0081

“コピペと言われない書き方”の総まとめ

気を付けるべき点、重要な点を太字にしてあります。もちろん、みなさんがレポートを書くときには太字にする必要はありません。念のため。

	左上をホチキス止め	授業科目名	タイトルは14ポイント	所属・ 学生番号 ・名前
	一般教養科目「常識を疑え！」レポート ハイブリッドカーは環境に良いか 徳島大学総合科学部人間文化学科1年 学生番号2012010001 山口裕之			
起	接続詞を入れる ハイブリッドカーは燃費が良いと一般に考えられており、政府はハイブリッドカーの購入に補助金を出すなどの政策を行っている。しかし、本当にハイブリッドカーが環境に良いと言えるのかどうかという点については自動車工学の立場からも批判がある。以下では、この点について考察する。			
承	まず、そもそもハイブリッドカーとは何かという点であるが、ウィキペディアによると、「ハイブリッド車とは異なる二つ以上の動力源・エネルギー源を持つ自動車」のことで、「総合効率が電気自動車や燃料電池自動車と同程度であり、環境負荷の低い実用車として注目されているという（ウィキペディア「ハイブリッドカー」の項目による）。 一般に、ハイブリッド車は通常のエンジン車よりも燃費が低い。			

引用はカギカッコで示す。

転	いといわれている。たとえば、代表的なハイブリッド車であるトヨタ「プリウス」の燃費は、トヨタのウェブサイトによると38km/1で、これは排気量が同じ1.8リットルのカローラの燃費16.8km/1の約2倍である（トヨタ自動車サイトによる）。 この事実からは、ハイブリッドカーは走行中のCO₂排出量が格段に少ないということができよう。それゆえ、多くの人がハイブリッドカーを使えばCO₂排出量が減るのではないかと考えられる。 しかし、ハイブリッドカーは、通常のガソリン車と比べて燃費はよいものの、まだまだ大量のガソリンを消費している。そして、ガソリンの消費こそが、「電力使用」と並ぶ、家庭部門におけるCO₂排出の二大要因なのだ（国立環境研究所サイトによる）。政府が高速道路の低料金化、ハイブリッドカーの購入促進など、自動車利用を増やす政策を取れば、これまで電車で行っていたところに車で行く、これまで車を持っていなかった人が車を買うなどの結果となり、燃費向上によるCO₂排出削減分はすぐに相殺されてしまいかねない。	接続詞を入れる 要約の開始の表示 出典を示す表記
	また、この問題について自動車工学の立場から批判的な発言を行っている山口裕之の「ハイブリッドカーの虚実」によると、「ハイブリッドカーの製造時には、通常の車の約1.5倍のCO₂が発生するのである（山口裕之、p.122）。 つまり、製造段階で発生する余分なCO₂が相殺されるためには、長年乗り続けることが必要、ということである。「物を大切に使う」という環境保護の基本が、ハイブリッドカーにおいても重要なのだ。ハイブリッドカーの購入促進策はこの基本に逆行する政策である。また、先に述べたとおり、これは自動車利用促進につながりかねない政策でもある。むしろ燃費の良い車を長期間利用している人を優遇することや、自動車の利用を全体的に抑制する政策を取ることが、環境保護のためには必要なのである。	引用する理由を書く 敬称は不要
結	参考文献・ウェブページ一覧 1) ウィキペディア「ハイブリッドカー」-Wikipedia, http://ja.wikipedia.org/wiki/ハイブリッドカー, 2012/	参考文献一覧を適切な形式で作成。Wordの「文献機能」で自動作成するのもお勧め。

8/20アクセス。

2) 国立環境研究所「温室効果ガスイベントリ報告書」, <http://www.gio.nies.go.jp/aboutghg/nir/nir-j.html>, 2012/10/12アクセス。

3) トヨタ自動車「toyota.jp プリウス」, <http://toyota.jp/sp/zeisei/car/06prius.html>, 2011/6/20アクセス。

4) トヨタ自動車「toyota.jp カローラフィールダー」, <http://toyota.jp/corollafelder/index.html>, 2012年10月11日アクセス。

5) 山口裕之「ハイブリッドカーの虚実」徳島書店, 2009。

なお、ここで示したレポートのサンプル「ハイブリッドカーは環境に良いか」の評点ですが、自分で書いておいて言うのもなんですが、「優（80点以上）、良（70～80点）、可（60～70点）」で採点するなら「良」ぐらいの出来ばえです。何が足りないかというと、分量がA4で1枚程度と、少々短いのです。もちろん、単に長ければよいわけではありませんが、賛否両論それぞれの根拠を取り上げて、十分に検討するためには、少なくともA4で2～3枚は書くことが必要でしょう。結論もはっきり言って凡庸^{はんよう}です。形式を示すためのサンプルなので、内容よりは簡潔さを重視してあります。ここでは形式を確認してください。くれぐれも、内容について「この程度でいいんだ」と思わないようにしてください。

ポイント⑦：具体的な結論を出す

あるテーマについて賛否両論を調べ、それぞれの客観的根拠を理解しました。賛否両論を比較検討している論文も読みました。接続詞を入れて、文章も構成しました。いよいよ結論です。結論がしっかりしていないと、せっかくの調査・考察が台無しです。客観的根拠に裏付けられた具体的な結論を、堂々と主張しましょう。

どのような結論が「よい結論」なのかは、テーマによって異なります。あるテーマについて、賛否双方の主張を取り入れた具体的に現実的な対応策を提案したり、従来の論争で見落とされてきた点を指摘したりするなどのことができれば上出来です。

他方、どのようなテーマを与えても、いつでも返ってくる「ダメな結論のパターン」があります。典型的な「ダメな結論」を列挙してみます。これらの結論は、抽象的でどのようなテーマについてもあてはまるのです。受験勉強の「小論文」で、こうした結論をさまざまなテーマに使いまわした経験がある学生さんも多いのではないのでしょうか。みなさんのレポートの結論がこういうパターンに陥っていないか、チェックしてください。

「ダメな結論」一覧

★レポートの「結論」にするのではなく、レポートを書く段階で実行しておくべきこと。

- ・「難しい問題なので、真剣に考えなければならない。」：レポートを書く段階で真剣に考えて結論を出しましょう。このように書くのは、真剣に考えていない証拠！

- ・「各人が自分なりに考えて結論を出すことが必要だ。」：あなたが自分なりに考えて出した結論を書いてください。なお、念のため繰り返しますが、「自分なりに考える」とは、「自分で様々な情報を調査して比較検討する」という意味であって、「自分で勝手に思いつく」という意味ではありません。
- ・「しっかり学ぶことが重要だ。」「よく知らなければならない。」：レポートを書くときにしっかり学び、知ってください。

★他人事っばい

- ・「最近の学生は学力が低下している。」：このように書く学生は、自分自身の学力をどのように考えているのでしょうか。いつの世でも「最近の若者は……」と言うオジサンは存在します。そうした言葉にだまされるのではなく、「我々は学力テストでは測れないようなことを自分たちできちんと学んでいるのだ」などと、堂々と反論してほしいものです。
- ・「日本国憲法の改正は時代の流れなので、仕方がない。」：率直に言って、このレポートを見たときには仰天しました。憲法改正は、自分たちの生活に直結する大問題であり、民主主義社会では国民が決めるべき事柄であるにもかかわらず、まるで自分にはどうすることもできない自然現象であるかのような言い方です。社会的な問題について、他人事ではなく、みなさん自身の問題として捉えるようにしましょう。
- ・「生活保護の不正受給を防ぐために、受給家庭に監視員を付けるべきだ。」：前の例文以上に仰天したレポートです。他人でなく、自分がそんなことをされたらどんな気がするか、少しでも考えてみてほしいものです。この例文によく表れていますが、他人事っばいパターンのもう一つの特徴として、自分を管理者

側、あるいは強者の立場に置くという点も指摘できます。最近の流行語で言うなら「上から目線」です。バランスよく考察するためには、「上から」だけでなく、「下から」の目線も持つようにしましょう。

★非現実的な結論

- ・「何事も疑ってみることが必要だ。」：「すべてのことを疑うこと」は実行不可能です。
- ・「自分で確認したことや、自分の目で見ただけのだけを信じるようにすべきだ。」：直接体験にこだわるパターンです。自分で確認できること、自分の目で見ることができるものは非常に限られています。また、人はさまざまなバイアスをかけてものを見てしまいますから、「自分の目はそれほど信用できない」ということも考えてください。
- ・「自動車社会そのものを改めるべきだ。」：たしかに自動車がなくなれば、排ガスも交通事故もなくなります。しかし自動車をいきなり全面禁止にすることは非現実的でしょう。

★具体的に何をしたらよいのかよく分からない

- ・「人間の生存のためには、ある程度は自然が破壊されてもやむをえない。」：具体的にどの程度の破壊は許容範囲なのか、根拠を挙げて示さなければ意味がありません。
- ・「どうしても人間のエゴが入るので、真の意味での自然保護は難しい」：具体的にどんな意味の自然保護なのか書きましょう。
- ・「さまざまな意見を考慮して決定しなくてはならない。」：具体的にどんな意見を考慮すべきなのかを書きましょう。
- ・「マスコミの情報を鵜呑みにせず、正しい情報を知らなくては

ならない。」：たしかに世の中には「正しい情報」と自称するウソの情報がたくさん存在しています。具体的にどのようにしたら「正しい情報」を知ることができるのかを書くようにしましょう。この本では、「正しい情報」かどうかを判定するための基本的な技術についても説明してきました。なお、「マスコミの情報を鵜呑みにせず」は、学生がよく書く言葉なのですが、聞いてみると、多くの学生は新聞を読んでいない、テレビのニュースさえあまり見ていない。まずはマスコミからの情報をしっかり仕入れてほしいものです。

- ・「教育が大切だ。」：政治家などがよく言うセリフです。「若者のモラルが低下しているので、道德教育が大切だ」などという言葉もよく聞きます。こうした言葉をレポートに書きつける学生さんは、単にそれをマネして言っているのかもしれませんが。しかし、現場で道德教育を実践している者の立場から言わせてもらうと、倫理学の知識を教えることはできますが、それだけでは道德的な人間を育てることはなりません。また、学生を道德的な人間に「する」ということが、ある種の強制や洗脳的な側面を含んでいるなら、「道德教育」自身が非道德的なものになってしまいます。具体的にどのような教育をすれば道德的な人間が育つのか、というところまで踏み込んで考えてほしいですね。

★結局〇〇思考

- ・「結局、ハイブリッドカーであっても環境負荷があるので、ガソリン車をハイブリッドカーに置き換えていったとしても意味がない。」
- ・「結局、自然保護といっても人間の立場から考えていることな

ので、本来の意味での自然保護などは不可能だ。」

・「結局、他人の考えていることを十全に理解することなどできない。」

・「結局、人間のやることなので限界がある。」

私が「結局〇〇思考」と呼んでいるパターンです。「結局」と言ってから、「原理的に不可能だ」というようなことを述べ立てます。これらは、一見すると哲学的で根本的なことを主張しているかのようにですが、現実社会における問題を何ら解決することなく温存してしまう無意味な主張です。何事も「人間のやることなので限界がある」のは当然ですが、だからといって「なにもやらなくてよい」ということにはなりません。むしろ、限界があるからこそ、より良くしていこうという努力に価値があるのです。

「引用」を活用した文章の構成・まとめ

ポイント⑤ 「思う」は禁句。

- ・「思う」と書かず、「根拠」を考える。
- ・「ある程度」「いろいろ・さまざま」「本来の意味での〇〇」も禁句。具体的にどの程度かなどを説明する。
- ・「考察する」とは、対立する陣営双方の主張の客観的な根拠を比較し、客観的に「正しい」といえるような結論を出すことである。

ポイント⑥ 接続詞を入れる。

- ・箇条書きやダラダラ文はやめ、「接続詞、主語-目的語-述語。」という簡潔な構文を心がける。
- ・「たとえば、しかし、それゆえ、つまり」の4つが基本。
- ・「また、そして」は使ってもよい。
- ・「さて、ところで」は避ける。

★「不条理な論理」になっていないかチェックする。

- ・感情を根拠にしていないか？
- ・別の事例から結論していないか？
- ・過度の一般化を行っていないか？
- ・論理的に正しいか？
- ・前提が間違っていないか？

ポイント⑦ 具体的な結論を出す。